

公表

事業所における自己評価結果

事業所名		eravuすみれ台				公表日	2026年2月19日
	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点		
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	6		広い空間が設定されている。		
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	6		基準を満たしており、正社員を多く配置している。パート職員と連携し、配置を調整することができている。		
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	4	2	おもちゃや文房具等は、ラベルや写真で片付ける場所を明確にしている。		
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	6		リラックスできるようにクッションや毛布などを置いている。毎日清掃や消毒を行っている。		
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	6		部屋が複数あり、勉強や遊び・プログラムなど別々の部屋で行えるようになっている。一人で落ち着ける部屋がある。		
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。	5	1		パートはなかなか時間がとれない。フェイスシートやアセスメントシートなどからお子さんの情報を確認する時間を確保する。	
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	5	1	保護者から聞いた話の共有は随時行われている。		
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	5	1	毎日児童の様子を共有する時間を設けている。	時間がとれない。	
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。		6	西宮市の定期的な運営指導を受け業務改善している。		
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	6		週に1回30分程度、法人内で研修を行っている。		
適切な支援	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	6		HPIに公表している。		
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	6		保護者・お子さんのニーズを聞き職員で会議を行なった上で計画を作成している。毎日の共有をフィードバックすることができている。		
	13	放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	6		職員の報告、提案を職員全体で検討している。		
	14	放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	5	1	支援内容確認の際にプログラム内容や送迎などを共有、確認している。		
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	5	1	発達検査の結果を参考にしている。事業所独自のアセスメントシートを作成し、利用者理解に役立っている。		
	16	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	6		必要な項目を適切に設定し、その上で、具体的な支援内容が設定している。		
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	6		週1回、プログラム内容を検討する時間を設けている。		

援 の 提 供	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	6		一度行った活動でも、難易度を調整したり別の材料や方法を用いたりして様々なものに触れられるよう工夫している。	
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	6		個別または集団で活動できるプログラムを設定している。	
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	6		職員の配置や療育のスケジュール、療育、支援内容における留意点をチームで話し合っている。	
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	4	2	退勤前や翌日の午前中に振り返り、利用者の様子や改善点を共有している。	
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	6		子供の活動記録を共有している。	
	23	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	6		共有記録をもとに見直しを積極的に行うことができている。	
	24	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせ支援を行っているか。	6		子供のニーズに合わせている。	
25	こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	6		子供自身で活動できる表示や仕方、導線の工夫をしている。		
関 係 機 関 や 保 護 者 と の 連 携	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	6		児童発達支援管理責任者が出席している。	
	27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	6		随時対応している。	緊急時に対応可能な医療機関や関係機関の把握が十分ではない状況である。今後は、緊急病院や関係機関をリスト化し、職員間で共有することで、迅速に対応できる体制を整えていきたい。
	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	6		各学校の先生とはお子さんの様子の確認も含めて頻りに連絡を取っている。	
	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定子ども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	6		就学前の支援会議等に出席しているが、会議がない場合はこちらから問い合わせることはない。支援学校の先生方が見学にきており情報共有できている。	
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	6		支援会議に出席したり、問い合わせがあれば報告している	
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。	6		西宮市の事例検討会に参加している。	
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。	4	2	事業所の目の前の公園で地域のお子さんと交流する機会がある。	
	33	（自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか。	4	2	西宮市の通所支援事業所の連絡会に参加している。	
	34	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	6		毎回ラインで活動の様子をお伝えしている。	
	35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	2	4	お子さんの特性に寄り添う話し方や環境設定等については随時お伝えしている。会を設けてはいない。保護者参加イベントは不定期で行っている。	研修や支援プログラムは行ってない。個別に対応している。ニーズがあれば準備していきたい。
36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	6		見学時と契約時に説明している。		
37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	6		契約時、支援計画更新時に確認している。		

保護者への説明等	38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	6		契約時に説明し、同意を得ている。	
	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	6		随時電話やラインで受付けている。支援計画時にも電話面談を実施している。	
	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機軸を設ける等の支援をしているか。	2	4		行う予定はない。ニーズがあれば検討したい。
	41	こどもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	6		管理者を中心に迅速に対応している。	
	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	6		インスタグラムやHPを活用している。	
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	6		写真等に特に留意している。	
	44	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	6		視覚支援や個別連絡による配慮を行っている。	
	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	2	4		行う予定はない。ニーズがあれば検討したい。
非常時等の対応	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	6		定期的に訓練を行っている。	訓練は行っているが、実施に際した保護者への周知が十分でないため周知の仕方を工夫する。
	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	6		定期的に訓練を行っている。	訓練は行っているが、実施に際した保護者への周知が十分でないため周知の仕方を工夫する。
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	5	1	保護者に確認している。	予防接種の確認はしていない。パートさんとの共有が行きとどいていない部分がある。
	49	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	6		年に1回保護者から聞き取って個人記録に記入し対応している。	
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	6		委員会を設置し必要な研修・訓練を行なっている。	
	51	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	6		周知している。	
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	5	1	毎日共有し対策を考えている。	
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	6		職員全員研修を受け、知識を身に付けている。研修を行い職員の心身の健康維持に働きかけている。現在対象となる利用者はいない。	
54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	6		支援計画書に記載している。身体拘束の子どもはいないが必要であれば保護者や職員間で共有している。		